

むつ市地域 新エネルギービジョン

概要版



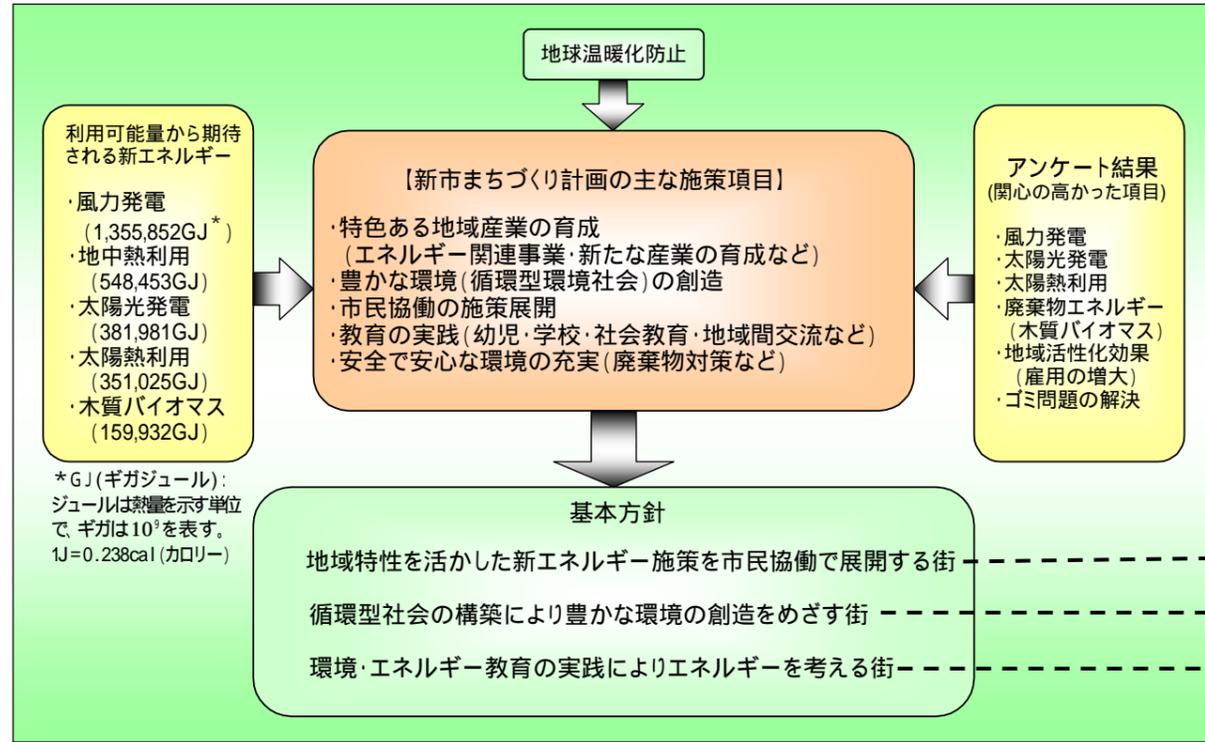
私たちは、循環型社会の構築に向け、地域特性を活かした市民協働による新エネルギー施策の展開と、子どもたちへの環境・エネルギー教育の実践により、豊かな環境の創造をめざします。

平成 18 年 2 月

青森県むつ市

新エネルギービジョン基本方針設定までの流れ

むつ市では、今後、「新エネルギー」の導入について多方面から検討していくに当たり、市民の皆さんへアンケート調査を実施しました。また、利用できる新エネルギーが市内にどれだけあるのかについても、合せて調査しました。そして、これらの調査結果や、新しい市としての「まちづくり」を進めていくための施策などをもとに、「むつ市地域新エネルギービジョン策定委員会」で検討を加え、本ビジョンの中で新エネルギー導入についての基本方針を定めました。新エネルギーの導入は、持続可能な資源循環型社会を構築して地球環境を保全していくための、そして、それによって下北の自然を将来にわたって守り、子どもたちに引き継いでいくための大きな推進力になるものと期待されます。



新エネルギー導入の基本方針設定までの流れ

アンケート調査結果(概要)

【市民アンケート】

- ・地球温暖化問題に関心がある：93%
- ・新エネルギー導入に対する意向：導入したいと思っている方は73%(導入済みは3%)
- ・むつ市への導入が適すると思う新エネルギー：風力発電(70%)、太陽光発電(44%)、太陽熱利用(40%)
- ・導入を考える場合に知りたいこと：メリットとデメリット(62%)、助成制度(60%)、価格や技術動向(56%)
- ・新エネルギーについて行政に期待すること：関連情報の提供、市独自の助成制度の設立、体験学習の場の提供など

【事業者アンケート】

- ・関心がある新エネルギー：風力発電(43%)、クリーンエネルギー自動車(41%)、太陽光発電・太陽熱利用(35%)
- ・新エネルギーを導入した事業者の導入の理由：経費節減(70%)、企業のイメージアップ(9%)など
- ・新エネルギー導入に対する意向：経費節減効果があり、技術的に信頼できれば導入したい
- ・新エネルギーについて行政に期待すること：助成制度や優遇措置、関連情報の提供など

むつ市で利用可能な新エネルギー

新エネルギーの賦存量調査の結果、次の新エネルギーの利用可能性が高いことがわかりました。

風力発電、地中熱利用(融雪等)、太陽光発電、太陽熱利用、木質バイオマス(熱利用、発電等)

考えられる新エネルギーモデルプロジェクト

「地域特性を活かした新エネルギー施策を市民協働で展開する街」を実現させるための主なプロジェクト

新エネルギー導入モニター補助事業

個人・事業者が新エネルギー機器等を購入する場合に市が費用の一部を助成するとともに、モニター会員として提供していただく発電量等のデータを公表し、導入促進につなげていくモニター補助制度の設立が考えられます。



(対象機器：太陽光発電・太陽熱利用・小型風力発電・地中熱利用・クリーンエネルギー自動車・ペレットストーブ)

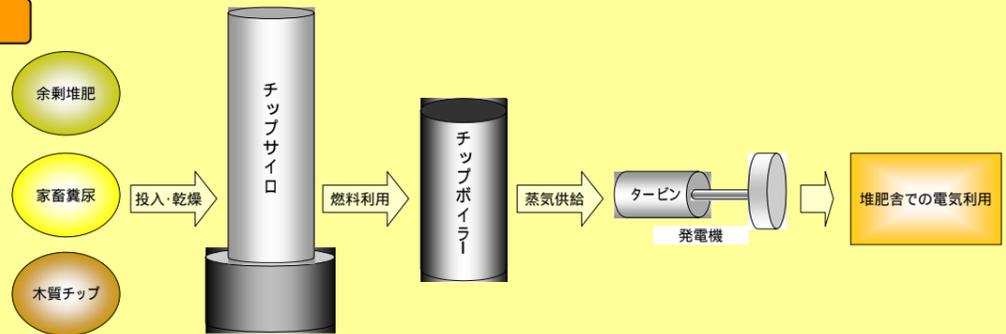
出典：(<http://www.nef.or.jp/what/whats02.html>)等

「循環型社会の構築により豊かな環境の創造をめざす街」を実現させるための主なプロジェクト

水川目地区の牛糞プロジェクト

【プロジェクトの概要】

木質チップを用いて家畜糞尿や余剰堆肥等を乾燥・減容化し、それらを合せて木質チップボイラーの燃料に利用しての発電や熱利用などが考えられます。



ウェルネスパークの新エネルギープロジェクト

【プロジェクトの概要】

パーク内に木質チップボイラー、風力発電機、太陽光発電機、太陽熱利用設備等を導入し、発生させた電気と熱をドームの屋根や駐車場の融雪、温水プールの熱源等に利用すると同時に、新エネルギーの整備拠点として広く普及啓発のために利用することなどが考えられます。

木質バイオマスプロジェクト

【プロジェクトの概要】

・製材所の残廃材を活用しての燃料製造(オガ炭等)
・間伐材や製材所の残廃材等を利用しての発電、熱利用
・公共施設や一般家庭へのペレットストーブの導入などが考えられます。

豚糞バイオマスプロジェクト

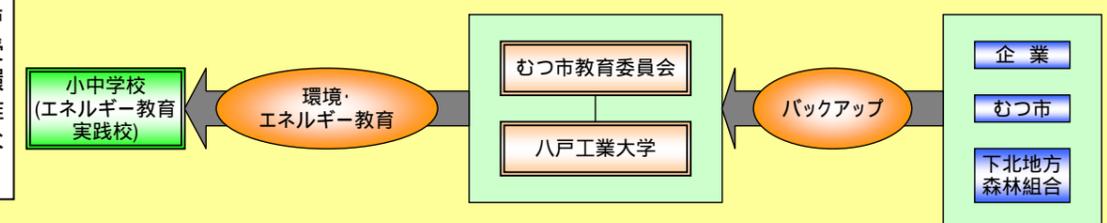
【プロジェクトの概要】

・豚糞をメタン発酵させ、生成した可燃性ガス(メタン等)を燃料電池の燃料としての発電や熱利用
・生成ガスをマイクロバスの燃料として利用などが考えられます。

「環境・エネルギー教育の実践によりエネルギーを考える街」を実現させるためのプロジェクト

【プロジェクトの概要】

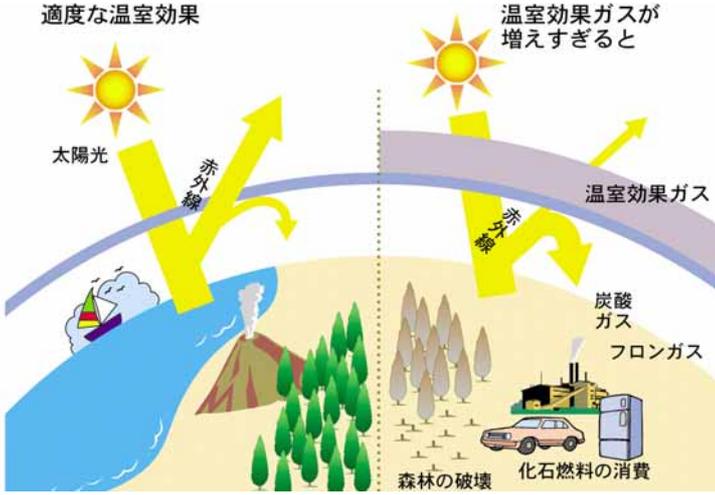
研究会を立ち上げ、八戸工業大学等の支援を受けながら、学校等で環境・エネルギー教育の推進を図っていくことなどが考えられます。



地球温暖化とは

「地球温暖化」とは、1750年代の産業革命以降に始まる急激な技術革新や経済発展が原因で、大気中の温室効果ガスの濃度が増加して温室効果がさらに強められ、自然の気候変動の範囲を超えて地表面の温度が追加的に上昇する現象をいいます。

20世紀に入ってからの100年間で、地球の平均気温は0.6上昇しました。このまま温暖化が進むと、最悪の場合、2100年には気温は5.8、海面は88cmも上昇し、様々な悪影響が生じると予想されています。



新エネルギーとは

太陽や風などを利用する「自然エネルギー」、今まで捨てていた生ごみなどをエネルギー源として利用する「リサイクル・エネルギー」、従来のエネルギーをクリーンな形で効率良く利用する「従来型エネルギーの新利用形態」(クリーンエネルギー自動車(例:ハイブリッド自動車)、燃料電池など)をいい、環境に優しいクリーンなエネルギーであると同時に、地球温暖化の原因と言われる石油等の消費を減らすことができます。



太陽光発電



風力発電(青森県東通村)



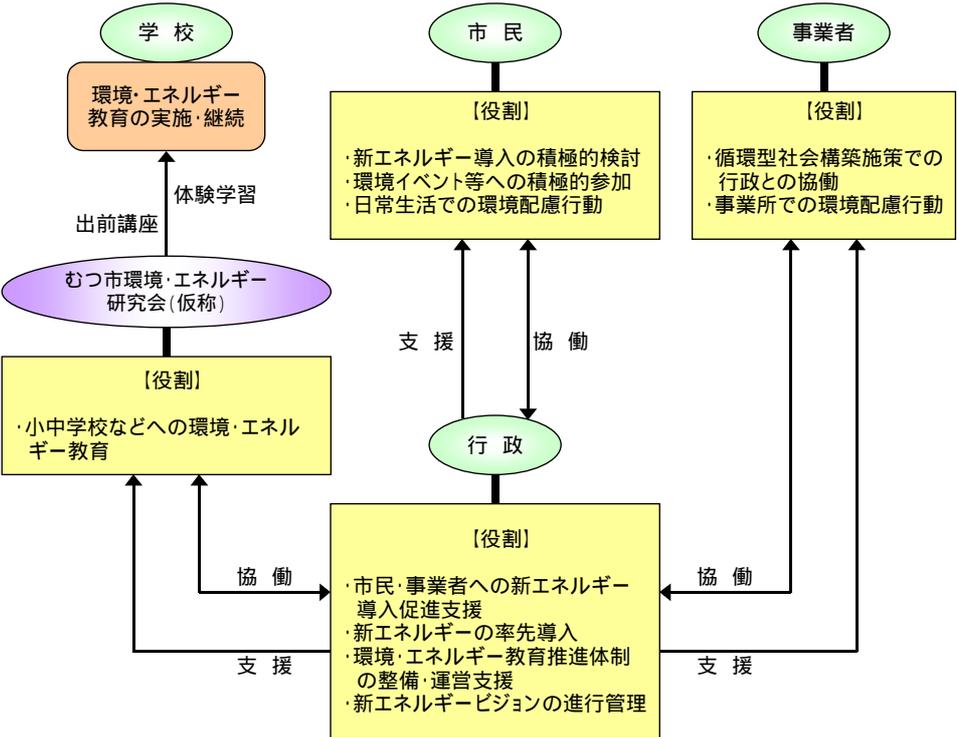
生ごみ発電プラント



ハイブリッド自動車

出典:(<http://www.nef.or.jp/what/whats01.html>)等

モデルプロジェクトの推進体制



むつ市役所 企画部企画課